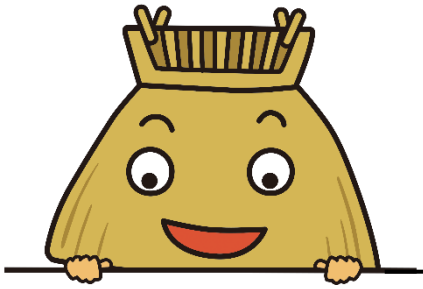


令和5年度 駿河区区民意見聴取事業

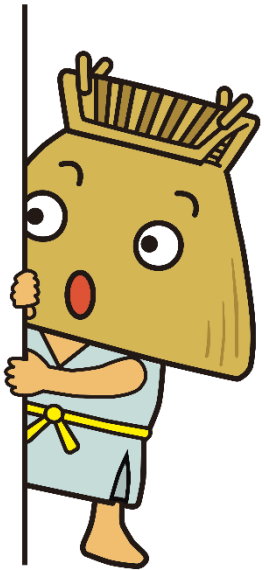
“わがまち×わかまち”会議
提案事業報告書

令和5年度テーマ

「　みんながつながる新しい地域づくり　」
～点から線へ、そして面へ～

駿河区
SURUGA

SURUGA WARD OFFICE



【事業概要】
駿河区では、区内に複数の大学を有し若者が多いという特色を活かし、次世代の担い手である学生をはじめとした若者と自治会役員等の地域住民と区役所が一緒になって、住民主体のまちづくりについて意見交換を行えるよう、区民意見聴取事業“わがまち×わかまち”会議を実施しています。
令和５年度は、「新しい地域づくり」を題材として全４回のワークショップを行い、令和６年度以降に実施可能な取組などについて、意見交換を経て最終的に５つの提案をいただきました。
提案は、既存のつながりをより強くするアイデアのほか、新しいつながりを生み出すためにはどうしたらよいかなどのアイデアで、新しい地域づくりの方向性を示す手がかりになる内容となりました。
各班からいただいたご提案は、令和６年度の魅力づくり事業への反映の検討するとともに、内容が他部局に関係するものについては、関係部局へ情報提供します。

【Ｒ５年度テーマ】
「みんながつながる新しい地域づくり」～点から線へ、そして面へ～

【対象・参加人数】
駿河区在住又は駿河区に通勤・通学している方、駿河区を拠点に活動している団体の方
３０人

【ファシリテーター】
小野寺　郷子　氏（会議ファシリテーター普及協会　副代表理事）

【補助ファシリテーター】
静岡大学・常葉大学・静岡県立大学の学生９人

【日程・内容】

回	日　程	内　容
第１回	11月９日（木）	しぞ～か防災かるた紹介、「こうなったらいいな」を考えよう
第２回	11月16日（木）	チームメンバーを知ろう、駿河区と関係のあるものを書き出そう
第３回	12月７日（木）	ミニレクチャー「行動経済学」、テーマから具体的なアイデアへ
第４回	12月21日（木）	まとめ・発表

1班　提案事業

わがまちサロン

≪提案の背景≫
「地域が繋がる」をキーワードに、地域の皆さんが負担なく、さらに心地よく繋がるためにはどうしたらいいのかを考えました。
大学のキャンパスを活用したコンテンツを提供することで人々が自然に交流出来たら、継続的に人を引き付ける魅力ある地域づくりにつなげられると思います。

≪企画内容≫

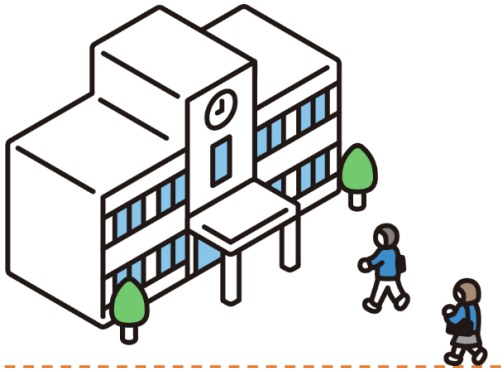
～ 大学へ行こう !! ～

〇サロン参加者が希望する、地域づくりにつながる事業の実現！
　場所：駿河区内の大学
　内容：カフェ運営、協働でものづくりやイベントを企画する

≪ターゲット層≫
地域とのかかわりを持ちたいと考える人

≪主催者≫
地域と関わりを持ちたいと考える学生、地域住民、企業、団体

≪事業スケジュール≫
1. 月1、2回のミーティングで実施内容を決定
2. 準備期間（3か月～半年）
3. 実施
4. 成果報告・振り返り



≪この提案に対する他班の参加者からのコメント≫
・学生や地域住民で運営するのは魅力的で、直接的につながりを広げられる。
・人と人がつながることで、できることが増える。 ・夢が広がる取組だと思う。
・大学を身近な場所として利用できるのがいい。 ・様々な団体を巻き込んでいてよい。
・子供連れでも安心できる環境がほしい、集まれる場所があるということがよい。
・アルバイトとは別のコミュニティでカフェをやってみたい。
・成果報告や振り返りがあるのは良いことだと思う。

2班　提案事業

0円カフェ　Let’s Suruga Cooking!!

≪提案の背景≫
「食」で駿河区内をつなげていきたい。飽食の時代と言われる現代はフードロスが問題になる一方、経済的に困窮し食に困る人たちがいるという矛盾を抱えています。
各地にある「子ども食堂」からヒントを得て、フードロスを減らしながら人と人とが繋がる場があったらいいと考え、企画しました。

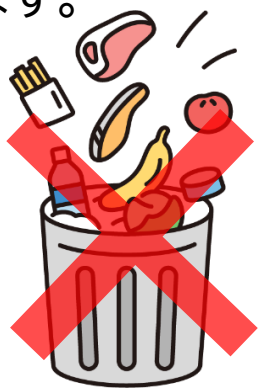
≪企画内容≫

～ 楽しく減らそうフードロス ～

食＋運動
⬇
罪悪感 0（ゼロ）

〇フードロスにつながる食材、食品を回収して、
　イベント来場者へ無料提供！
　・地元企業やフードバンクと連携
　・食材を集める冒険！（大学生などが地域に関わるきっかけとなる）
　・イベント開催（いろいろな場所で開催することで地域を知ってもらう）
　・既存イベントへの出展（スルガフェスなど）

〇静岡市をホームタウンとするプロスポーツチームの選手を呼び、
　スポーツ教室や体験を通じてホームタウンを盛り上げます。



≪ターゲット層≫
小中学校とその家族

≪主催者・関係者≫
行政、イベント実行委員会、地元企業、地域住民、生産者、
フードバンク、プロスポーツチーム、大学生

≪この提案に対する他班の参加者からのコメント≫
・イベントをきっかけにフードロスを減らし、地域のいいところを知ってもらえて常にいい。
・フードロスについて考える機会が少ないのでいい取組だと思う。 ・これぞSDGs！
・楽しくフードロス＋カロリーを減らしましょう！ ・目に見えない困窮者が助かると思う。
・関係者が明確でよい、地域のつながりも生まれて協力者も広がりそう。

3班　提案事業

Bo-sai　知らnight

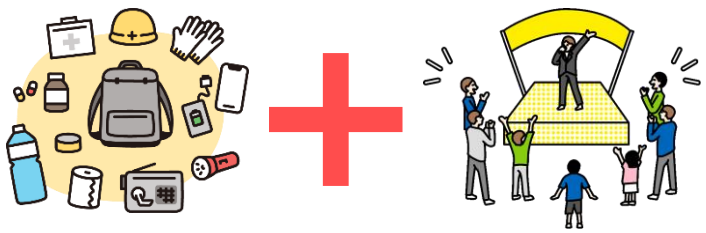
≪提案の背景≫
防災を通じて新しいつながりを作りたい。既存の防災訓練だけでなく、「楽しく真面目な防災」であれば、今まで防災訓練に参加しなかった人たち、特に大学生にも興味をもってもらえるかもしれないと考えました。

≪企画内容≫

～ 一夜限りの防災イベント ～

日時：8月1日　18時スタート
場所：広野海岸公園
内容：
［防災イベント］
起震車体験、災害伝言ダイヤル体験、119番体験、移動手段レース、煙体験、津波避難タワー散策ツアー、担架搬送体験、車いす体験、避難用道具クイズ、長田の魅力×防災マップ、参加者でペア訓練、ペット同伴避難訓練
［NEWイベント］
防災食ビュッフェ、防災×ミュージック、防災力診断、防災コスメ、メイクアップ教室、防災占い、防災スタンプラリー、エスパルス防災サッカー、駿河区特産品プレゼント、唐芋、トロベーデザイン家具転倒防止シート配布、地域で使用できる割引券配布

≪ターゲット層≫
市内大学生、小中高生とその親



≪主催者・関係者≫
主催者：大学生
関係者：NPO、NTT、缶詰などの企業、エスパルス、シャンソン、防災士、静岡県、消防、駿河区役所

≪この提案に対する他班の参加者からのコメント≫
・たしかに防災に大学生は見かけない、ターゲットを大学生にしぼったところがいい！
・大学生は防災意識が薄いのでありだと思う。　・楽しく防災を学べる。・視点がおもしろい。
・実現性が高そう！　・あえて夜というのがgood　・防災コスメ→新しい!!

4班　提案事業

駿　発　隊（すんぱつたい）

≪提案の背景≫
誰もが、簡単に欲しい情報にたどり着くことができれば、より住みやすい駿河区に近づくのではないか。紙媒体の回覧板は、手元にくるのに時間がかかる、じっくり見ないという現状。それらを踏まえ、地域住民のデジタル化への“道”を提案します。さらに、デジタル化を推進する中で、地域の人と人との新たなつながりも生まれると考えました。

≪企画内容≫
～“いつでも”“どこでも”“だれとでも”つながる入口～

〇デジタル回覧版の作成
→履歴を確認できる！他の自治会分も確認できる！
→緊急時の連絡手段に！
→他の地区の良い取組を自分たちの地域にも活かせる！
→多忙な子育て世代もすき間時間に確認できる！

〇多世代が参加して地域の広報誌を作成
→誰が読んでも面白い！
→世代により役割を与える！（子どもがクイズを作成するなど）

〇自治会LINEの作成
→学生を講師にしたLINE講座を開催
→デジタルに苦手意識のある高齢者を取り込む！
→多世代交流につながる！

≪ターゲット層≫
駿河区を“住みやすいまち”にしたい人
※特に自治会や地域とのつながりが比較的薄いと思われる30～40代の子育て世代

≪主催者≫
駿河区の住民、企業、学生（ゼミ、サークル）、自治会、行政

≪この提案に対する他班の参加者からのコメント≫
・子育て世代や働く人にとって、デジタル回覧板で行政情報がわかるのは非常に便利！
・デジタル回覧版があるならぜひ使用したい、アプリがあれば気軽に参加できる。
・「つながる入口」がいいフレーズ　・是非、回覧板のデジタル化に取り組んでほしい。
・話題のデジタル化をテーマに、現状分析を踏まえたうえでまとめた提案でとてもよい。

5班　提案事業

ワー！キャー！すっごーい！がやってくる！

≪提案の背景≫
子どもが主役のまちづくりを目指し、未就学児とその家族をターゲットとして地域で人が集まれる場所となるイベントを提案します。イベントを通じて、地域でのつながりが強化され、さらに様々な関係者を巻き込みながら新たなつながりが生まれる、その“つながりの連鎖”から「子育てしやすいまち」に発展していくと思います。

≪企画内容≫

～ キミの憧れが叶うマチ、するが区 ～

〇楽しいイベントの企画・開催
働く車大集合！（消防車、救急車、はしご車等）
ゆるキャラ大集合！
イベント限定の“トロベーマネー”
おもちゃの交換会（“トロベーマネー”使用）

≪ターゲット層≫
未就学児＋お母さん、お父さん

≪主催者・関係者≫
主催：自治会、地域の有志（例：駿援隊）
関係者：大学のボランティアサークル、働く車を所有する企業、
警察、消防、建設局、行政、NPO、高校生（ボランティア）
ゆるキャラ関係者（トロベー、はなみん、ちいかわ等）

≪事業スケジュール≫
1　当初は小規模で開催 → 地域の集会所で「1つ」のイベント
2　年に 1回ペース → 半年に1回ペース → 3ヶ月に1回ペース

≪この提案に対する他班の参加者からのコメント≫
・子供たちに特化していて面白そう、子どもがたくさん集まるイベントが魅力的！
・「キミの憧れが叶うマチ」と聞くだけでわくわく感が感じられる。
・「トロベーマネー」の発想がいい！　・保護者も楽しめて勉強にもなるところもよい。
・効果的な周知をして集客、多くの人に知ってほしい。
・回を重ねることで地域の活性化につながりそう。　・子どもが喜ぶイベントは賑わうと思う。

令和6年度以降事業へのフィードバック方針

【1班提案事業】
「わがまちサロン～大学へ行こう!!～」

「大学のキャンパス利用」に関する提案は、駿河トロベーWeekやスルガフェスなどの駿河区役所主催事業に参加する企業、団体、地域住民、大学生等と意見交換するとともに、区内にある各大学との連携の中で実施の可能性を研究します。
また、市企画局、市民局へ情報提供します。

【2班提案事業】
「0円カフェ Let's Suruga Cooking!!～楽しく減らそうフードロス～」

「フードロス削減」に向けたコンテンツ、罪悪感をゼロにする「食＋運動」については、駿河区役所主催イベント内への反映を検討するとともに、市環境局へ情報提供します。
また、「静岡市をホームタウンとするプロスポーツチームとの連携」に関する提案については、市観光交流文化局へ情報提供します。

【3班提案事業】
「Bo-sai 知らnight ～ 一夜限りの防災イベント ～」

「防災イベントの開催」については、日時や場所を検討したうえで令和6年度の駿河区主催の事業(スルガフェス)に反映させる予定です。また、駿河区の人材育成事業「駿援隊」と連携して、防災をより効果的に楽しく学ぶことができるイベントを目指します。

【4班提案事業】
「駿 発 隊 ～“いつでも”“どこでも”“だれとでも”つながる入口 ～」

「デジタル回覧板」に関する提案については、地域における先進事例の情報収集・分析を行い、その結果を駿河区自治会連合会及び関係各局へ情報共有します。また、市民局及び企画局とあわせ、現在庁内において研究を進めてている共助社会に向けたプロジェクトチームへも情報提供します。

【5班提案事業】
「ワー！キャー！すっごーい！がやってくる！ ～ キミの憧れが叶うマチ、するが区 ～」

自治会や地域主催のイベントの賑わいの一つとして、トロベーの出演協力をします。
地域主催イベントへのゆるキャラ出演については、主催者の意向を受け、駿河区地域総務課が窓口となり関係各局と調整を行います。また、「働く車」をイベントに集める提案については、消防局等へ情報提供します。

駿河区
SURUGA

令和6年3月
駿河区役所地域総務課
TEL:（054)287-8682